

大宰府条坊のなかの客館

客館は、外国からの使節団が滞在するための施設です。「遠の朝廷」とよばれた古代の役所・大宰府は、日本の外交にもたずさわったことで知られています。そのための施設として、博多湾に設けられた筑紫館（鴻臚館）が知られていましたが、大宰府のまちの中にも、客館が設けられていたことが新たにわかりました。大宰府のまち（条坊）は、人や物が行き交う「天下之一都会」と記されるほどの大きなまちで、都と同じように、碁盤の目に区画され、政庁にいたる朱雀大路（中央大路）が設けられていました。客館は、この朱雀大路沿いにおかれています。外国使節は、筑紫館（鴻臚館）を出て、まっすくにのびた官道をすすみ、大宰府の入口・水城にいたりました。そこから条坊の南西へとすすみ、条坊の真南（推定羅城門）から朱雀大路に入り、客館へ向かいました。そしてしばらく客館に滞在し、政庁で外交儀礼や饗宴（宴会）にのぞみ、また交易なども行ったとみられます。客館跡は、日本・東アジアの古代の外交にかかわる重要な遺跡で、国の特別史跡大宰府跡に指定されています。



古代の大宰府復元イラスト
(建物配置など推測を含みます)

【客館跡へ】

- 西鉄二日市駅から 徒歩5分
- JR 二日市駅から 徒歩20分
- 大宰府政庁から 徒歩15分



特別史跡 大宰府跡（客館跡）

※以下は、大宰府跡のうち客館跡のみの概要です

| | |
|------|------------------------------|
| 指定日 | 平成26年（2014年）10月6日（大宰府跡に追加指定） |
| 所在地 | 福岡県太宰府市朱雀3丁目305-8ほか |
| 指定面積 | 16,185.99㎡ |
| 管理者 | 太宰府市 |
| 備考 | 大宰府跡は、「日本遺産」の構成文化財の一つです |



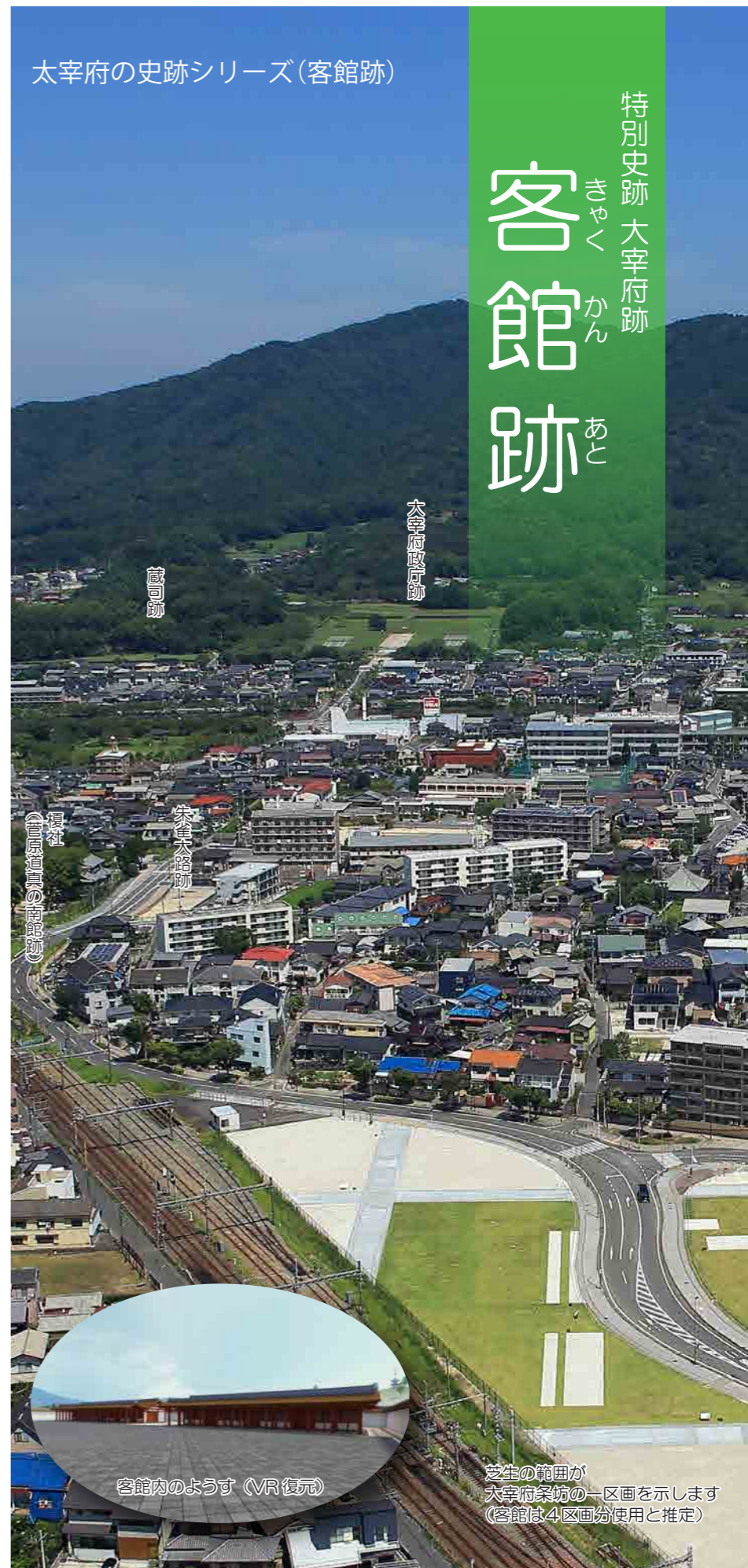
日本遺産
古代日本の「西の都」～東アジアとの交流拠点～
<http://www.dazaifu-japan-heritage.jp>



発行：太宰府市教育委員会（文化財課）
〒818-0198 福岡県太宰府市観世音寺1-1-1
tel 092-921-2121（代表） bunkazai@city.dazaifu.lg.jp
発行日：令和3年（2021年）3月3日

太宰府の史跡シリーズ（客館跡）

特別史跡 大宰府跡 客館跡



客館内のおよそ（VR復元）

芝生の範囲が
大宰府条坊の一区画を示します
(客館は4区画分使用と推定)

客館内の土地利用 (遺跡写真を合成しています)



客館は条坊4区画を使用しました

条坊の区画
飛鳥時代(7世紀末)の道路や区画溝が見つかります。条坊区画は、その後も位置をほぼ変えていないようです。

客館の建物

いずれの大型建物も、南北に長い2棟の建物が並列する壮麗な複合構造だったとみられます。



大宰府条坊最大の建物跡です

大型建物(北棟)
南北方向の柱間 16間
長さ 29.5m
幅 8.8m

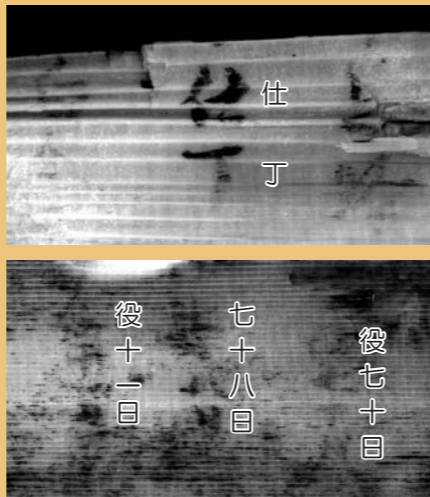


大型建物(南棟)
南北方向の柱間 11間
長さ 23.6m
幅 8.6m

出土文字いろいろ



大宰府の施設という証拠



名簿につかっていた大きな板が井戸枠に再利用されていました。文字は大半が消えていましたが3年間奉仕するため各郷から集められた「仕丁(しちょう)」の名前や労役日数が書かれています。仕丁は、朝廷・大宰府で奉仕していたので、ここが大宰府の施設という証拠となりました。日数をみると、11~86日と差があり、必要におうじて呼ばれ働いたとみられます。

客館のもてなし



写真: 奈良文化財研究所



唐で始まったばかりの喫茶文化が伝えられていました。

唐・越州窯青磁(えっしゅうようせいじ)

茶碗・茶托

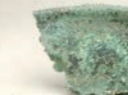
日本・奈良三彩(ならさんさい)
緑と黄の釉が鮮やかな陶器。新羅や唐から日本へ技術が伝えられました。



つぼ壺

厚さ0.7mmの碗が重なっています。(X線写真)

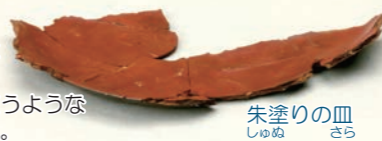
かばん 加盤(重鏡)



新羅・佐波理(さはり)

高級な青銅食器。たいへん薄く、たたくと、美しい音が響きました。

日本・漆器(しっき)
朱塗り漆器は三位以上の上級貴族が使うような高級品でした。



朱塗りの皿



スプーン



漆器の食卓復元

写真: 奈良文化財研究所
料理復元: 奥村彰生



佐波理の食卓復元

写真: 奈良文化財研究所
料理復元: 奥村彰生

各国の高級品を使ったもてなしです



客館の中心となる場所は、敷地南半にあります。広い庭があり、東には、西を向いた大型建物が並んでいます。その後ろにも建物が建ち、一部は管理棟とみられます。敷地北西は、小さな建物や井戸などが集まっています。給仕や食事の準備を行う厨房エリアとみられ、東アジア各国の高級食器がいろいろと出土しました。このほか、香炉、火舎(火を入れる脚付き盤)、木簡、硯、祭祀の道具(土馬・ミニチュアの土器)、碁石、碁、礎石や建築部材なども、出土しています。